

## 政策研究会議の進捗状況について（中間報告）

### 1 人口増加策とシティセールス

#### ○政策研究会議で検討を進めている人口増加策

〔短期的〕

- ・子育て世代（現役世代）の蓮田市での定住化を促進〔社会減少を食い止める〕

〔中・長期的〕

- ・自然増加に転じる施策の推進〔少子化に立ち向かう〕

※施策の例

- ・住宅取得の促進、・子育てサポートの拡充、・晩婚化対策 などについて検討中

#### ●上記施策を後押しし、多くの方に共感・認知していただけるPR方法などシティセールスを検討中

#### ①現状、将来推計

- ・平成 26 年 1 月 1 日時点で 63,077 人、平成 42 年には、49,638 人と推計されている。
- ・自然動態は平成 20 年度を境に減少に転じ、社会動態は平成 10 年以降常に転出が転入を上回っている。全体としては、増加している年度もあるが、減少傾向にある。
- ・高齢化率(全人口に対する 65 歳以上の人口の割合)も、平成 26 年時点で 26.9%となっており、平成 42 年には、約 38%に上がると推計されている。
- ・また、0 歳～14 歳までの年少人口の割合は、平成 26 年時点では 11.9%で、平成 42 年には、9.3%まで下がると推測されている。

#### ②このままでいると

- ・生産者年齢(15 歳～64 歳)人口、年少人口(0 歳～14 歳)が減少し、まちの元気、活力が失われる可能性が高い。
- ・また、子育て世代の減少により、子どもの数が減り人口減少の負のスパイラルにおちいる可能性もある。

#### ③方向性

- ・子どもからお年寄りまで多様な世代でにぎわいを魅せるまち
- ・持続可能な基礎的自治体の継続

### 2 ふるさと納税

人口増加や地域活性化などシティセールスの観点で、ふるさと納税の導入に向けた制度の検討を行った（検討案）。

#### ①開始日 平成 27 年度のスタートに向けて検討

#### ②対象 ふるさと納税制度を利用した 10,000 円以上の寄附者

#### ③記念品 収支バランスを考慮し、3,500 円相当の記念品

#### ④事務処理等 (1) 代行業者に委託、(2) クレジット納付

#### ⑤平成 27 年度予算(試算) 先行他市町の状況を参考に、 10,000 円の寄附が 200 件、歳入 2,000,000 円と算出

※記念品目は、今後検討